

スマイルブック

記載例



これまでの出来事

時期（年齢）	機関	事柄
2007年10月 (1歳6ヶ月)	××保健センター	1歳半健診。身体は順調に成長していましたが、ことばの遅れと落ち着きがないことを指摘されました。
2009年4月 (3歳0ヶ月)	××保健センター	3歳児健診。ことばは増えましたが、やはり落ち着きがないことを指摘されました。
2010年4月 年少（3歳）	〇〇幼稚園	入園。友だちのことが大好きで、毎日楽しく通っていました。
		わからないことも多いようでしたが、周りの友だちが助けてくれていました。嫌なことがあると手を出すことも...
2013年4月 小1（6歳）	〇〇小学校	入学。同じ幼稚園から進学する子が多かったこともあり、すぐに慣れました。
		「学校は好きだけど勉強は嫌い」とよく言っていました。宿題をどうやってやらせるか格闘する毎日でした。
2013年10月 小1（7歳）	〇〇小学校 スクールカウンセラー	月1回、スクールカウンセラーと母の相談を始めました。卒業まで続けました。
2015年7月 小3（9歳）	〇〇教育相談室	勉強と子育てについての相談を始めました。本人は遊びの時間を作ってもらい、6年生まで通いました。
2015年8月 小3（9歳）	〇〇クリニック	発達についての相談を始めました。薬や特性だけでなく、子育てのアドバイスも聞いています。
2015年11月 小3（9歳）	放課後等デイサービス 〇〇	週1回、放課後等デイサービスに通い始めました。別の学校の友だちと会えるのを楽しみにしていました。
2016年4年 小4（9歳）	〇〇小学校 すまいるルーム	週1回、すまいるルームに通い始めました。楽しく通い、本人の居場所になりました。
2019年3月 小6（12歳）	〇〇小学校	卒業。中学に向けて、どの部活に入ろうかと期待に満ちているようでした。
2019年4月 中1（12歳）	〇〇中学校 すまいるルーム・ スクールカウンセラー	入学。中学もすまいるルームとスクールカウンセラーの利用を続けることになりました。
		バレー部に入りました。慣れないチームスポーツに取り組むことで、少しずつ上級生との関わり方や敬語の使い方を学んでいっています。
2019年7月 中1（13歳）	△△個別学習塾	週2回、個別学習塾に通い始めました。一つずつ確認できるので、本人に合っているようです。

行動



気になる行動があったときは記録に残しておく、今後の対処にも役立ちます。

記録日（ 年 月 日）

パニック	きっかけ	状態	対応
	計画を立ててテスト勉強をする	横になって勉強をしなくなる、イライラして家族に当たる	しつこく勉強するように言わない、計画をホワイトボードに書いて目に見えるようにする
	しつこくからかわれる	はじめは無視しようががんばるが、最終的に怒って大声で応戦する	早いうちに相手から離れる、必要ならば静かな教室に行く
	同時に複数の作業をする	頭が真っ白になり、固まって動けなくなる	一つずつ順番に取り組めばいいと伝える、一緒に優先順位を考える
こだわり	こだわりの対象	こだわりの内容	対応
	部活の勝敗	絶対に試合に勝ちたいので、負けるとミスしたメンバーを責める	負けても責めないことを顧問の先生から伝えてもらう、メンバーから離れる
	いつ起こるか	行動の内容	対応
	日常的に	物の管理が苦手	置き場所を決めておく、提出物はスマホのリマインダーに入れておく
	勉強中	集中力が続かない、眠くなる	集中しやすいように部屋を整える、スマホやゲームの電源を切る



生活マップ

よく利用する施設を書き込み、オリジナルのマップを作りましょう。

記録日 (年 月 日)

- ・〇〇中学校
担任 ××先生
- ・すまいるルーム
××先生
- ・特別支援教育コーディネーター
××先生
- ・スクールカウンセラー
××先生

- ・〇〇中学校バレー部
顧問 ××先生
コーチ △△コーチ

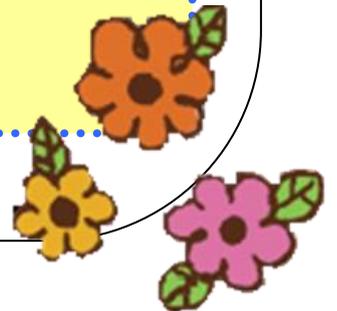
- ・〇〇クリニック
××先生
- ・△△小児科
××先生



- ・個別学習塾(週2回)

- 《よく遊びにいくところ》
- ・〇〇児童館
 - ・△△公園
 - ・××くんの家

- ・〇〇総合支所 保健福祉課
△△ケースワーカー
××発達支援コーディネーター



コミュニケーション



気持ちの表し方、伝え方など、お子さんのコミュニケーションの特徴を書いてみましょう。

記録日（ 年 月 日）

* ことば

【意思表示】

- 動作で表現
- 単語で表現
- 文章で表現

【ことばの理解】

- 身近な物の名前や使い方を理解している
- カードや写真を使った指示が分かる
- 簡単な指示に応じられる
- 文章での話しかけが分かる
- 昨日、明日など時制の理解ができる
- 「あげる」「もらう」など受動・能動の関係を理解している
- 簡単ななぞなぞに答えられる
- 曖昧な表現が理解できる
- 冗談やたとえ話が理解できる
- 仮定の話が理解できる

MEMO

- ・日常的なことばの理解は概ねできています。
- ・仮定の話は理解できます。しかし相手と行き違いがあったときなどは、考えている途中でじれったくなってしまうのか、考えることをやめてしまうことが多いです。

【ことばの特徴】

- 数が少ない
- おしゃべり
- おうむ返し
- 独り言が多い
- 同じ話を繰り返す
- 独特の表現を使う
- 発音不明瞭
- 吃音がある

MEMO

- ・おしゃべりが好きで、家でも学校でもよく話します。
- ・伝えたい気持ちが先走ると、音が詰まって出てこないなどの吃音症状が出る場合があります。

* 気持ち、場面の理解・表現

【感情理解】

- 相手の表情が読み取れる
- 相手の気持ちが理解できる
- 絵や文章の中から感情が読み取れる
- 周囲の人を励ましたり慰めたりできる

【感情表現】

- 泣く、笑うなど表情や動作で表現する
- 自分の気持ちをことばで伝えられる
- 自分の気持ちを文章で表現できる
- みんなの前で自分の気持ちを伝えられる

【状況理解】

- 具体的な説明があれば状況を理解できる
- 周囲の人と一緒にその場を楽しむことができる
- 静かにするべき時は黙ってられる
- 周りの動きを見て動くことができる
- 場の雰囲気を感じて適切に行動できる
- 状況を予測して動くことができる
- 優先順位をつけて行動することができる

MEMO

- ・相手の感情を理解することは概ねでき、相手を励ましたり慰めたりと優しいところがあります。一方で、国語の問題文から登場人物の感情を読み取ることは苦手です。
- ・落ち着いていれば自分の気持ちを文章で表現できます。カッとなると難しいことも多いです。
- ・その場の状況を理解して行動しますが、言いたいことややりたいことがあると抑えきれないことがあります。状況を予測する、優先順位をつけるなど、見通しを立てて行動することは苦手です。

* コミュニケーション

【視線】

- 合う
- 合いづらい

【人見知り】

- なし
- あり

【表情】

- 豊か
- 普通
- あまり変わらない

【人とのかわり】

- 積極的（能動的）
- 普通
- 消極的（受動的）

MEMO

- ・人が好きなので、自分から積極的に関わろうとします。積極的ゆえに相手に引かれてしまうこともあります。

【コミュニケーションの特徴】

- 名前を呼ばれたら返事ができる
- 自分から場面にあったあいさつができる
- 簡単な質問に答えることができる
- 一方的に話してしまうことがある
- 思ったことをすぐ口にする
- 過去の出来事について話すことができる
- 順序立てて説明することができる
- 「何で」「誰と」などの質問に対して答えることができる
- 助詞を適切に使える

MEMO

- ・基本的なコミュニケーションスキルが身についています。
- ・思いついたことをパッと話すところがあるので、順序立てて相手に伝わるように説明するのは苦手です。

【日常のコミュニケーション】

- して欲しいことがあった時に、お願いをすることができる
- いやなことは断ることができる
- 相手からの依頼やお願いごとを受け入れることができる
- 分からないことを質問することができる
- 相手を誘うことができる
- 困った時に相談することができる
- 相手の失敗を受け入れることができる

MEMO

- ・人にヘルプを出すことは得意です。
- ・部活をがんばっているがゆえに、試合中のミスを責めてしまうことがあるようです。本人にとって大切なことでなければ、相手の失敗を受け入れることができます。

【友達とのかかわり】

- 一人で過ごすことが多い
- 友達よりも大人と関わることを好む
- 一対一で友達と遊べる
- 複数の友達と遊べる
- グループで雑談や話し合いができる
- 仲の良い友達が限定されている
- 相性の悪い友達がいる
- トラブルになることが頻繁にある

MEMO

- ・部活のメンバーを中心に、仲のいい友だちがたくさんいます。
- ・カッとなりやすいところがあるため、相性が悪い友だちとはトラブルになりやすいです。

【先輩・後輩とのかかわり】

- 学校や部活などでの先輩・後輩の関係を理解している
- 先輩に丁寧なことばで話することができる
- 同年齢よりも先輩・後輩とかわることが多い

【大人とのかかわり】

- 自分からはあまりかわろうとしない
- 担任の先生など慣れた相手などであれば話ができる
- 誰とでも話することができる
- 丁寧なことばで話することができる

MEMO

- ・部活を通して、先輩・後輩の関係が身についています。
- ・後輩など接しやすい相手には距離が近くなりすぎたり、乱暴な言葉になってしまうことがあります。

【好きな人のタイプ】

- ・一緒に楽しんでくれる人
- ・本人の話を受け入れてくれる人
- ・共通の趣味がある人

【苦手な人のタイプ】

- ・からかってくる人
- ・テンポがゆっくりな人

